

～ きらめき市民大学 あるある話 ～

きらめき市民大学に入学すると・・・

「学生さん」と呼ばれ、学生証を交付されます。あるお店できらめき市民大学の学生証を提示し、「学割で。」と言った人がいるそうです。お店の人はとても困ったみたい。きらめき市民大学は、学校教育法に定められた大学ではありませんので、学生割引の対象にはなりません。

きらめき市民大学は「高齢者が学ぶ大学」なの？

と思っている人が多いのですが、そんなことはありません。きらめき市民大学は、東松山市民で義務教育就学中（小・中学生）以外の方であれば入学できます。

学生さんの平均年齢は68歳前後

男女比は年によって違いますが、だいたい男性45%、女性55%です。市内全域から入学されています。

昼食はどうしているの？

（学生）食堂はありません。お弁当を持参している人も多いようです。教室でワイワイおしゃべりしながらランチ、天気の良い日はお庭でも・・・。

昔はなかなか入学できなかった

んです。たまに「入学試験があるのですか？」と質問されることがあります。

試験はありません。ただし以前は入学定員に対して、入学希望者がたいへん多く、公開抽選を行い、入学者を決定していました。入学したくても2年、3年と待たされた方もいらっしゃいました。

クラブ活動について

英会話、卓球にインディアカ、太極拳（体育館があります！）、ヨガ、コーラス、ゴルフクラブにお囃子クラブなど様々なクラブ活動を自主的に行っています。一番盛んなのが何といても「パソコンクラブ」。学生さんはパソコンを持ち寄りグループ学習。学生さんの中には、お仕事でパソコンの達人だった方もいて、教えてくれたり、お互い教えあったり。あっという間に上達します。また農園クラブでは、借りている畑で農作業を体験。みんなと一緒に野菜づくり、初心者でも大丈夫です。

農園クラブ



農園作業のようす、作物の成長の楽しみや収穫の喜びをお伝えしたく、東松山市のホームページ内で、随時更新中。ぜひご覧ください。

時には・・・

2年生になると課題研究が始まります。興味・関心のあるテーマを設定して、個人またはグループに分かれて調査・研究し、卒業式前の一大イベントの課題研究発表会で発表します。様々な意見がでてまとめるのも一苦勞。議論が白熱することもしばしば・・・。完成度バツグンとなり、課題研究会に臨みます。是非一度、学生さんたちの課題研究発表会にお越しください。毎年2月上旬の日曜日に市内の活動センター または きらめき市民大学講堂で開催します。

2年間の学生生活を過ごした後は

気の置けない仲間になります。「卒業旅行に行ってきた（もちろん自主的な旅行です）。」なんて話も聞いたりします。卒業後も定期的に集まったりしている人もいます。



卒業後も

クラブ活動を続けて行うこともできます。水曜日と木曜日が現役学生の授業日ですが、それ以外の日に登校し、研修室を利用して学習しています。ほぼ毎日きらめき市民大学に通ってくる学生さん（卒業生）もいらっしゃいます。

何といても人材の宝庫・・・

平均年齢が68歳ということで、学生さんの多くは退職された方や、子育てを終えた主婦の方が中心。

現役時代は銀行員やエンジニア、営業職、公務員、教師、警察官から自営業の方まで実に様々です。多くの出会いや思わぬ発見、趣味も広がるでしょう。



きらめき市民大学に通う学生さんたち、
本当に楽しそうです！